

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.393 2011.9.1 <http://www.oakv.co.jp>

木とともに生きる

— 姿を変えたケヤキ —

営業部 田中満治 文

お客様から、「ある事情で、実家の大きなケヤキの木を伐らざるを得ないので引き取っていただけませんか」というご相談を受けた。伐採までもう間もないそうで、このまま見ず知らずの方の手に渡るよりは、オークヴィレッジで何とか活かしてもらえないかということだった。

早速、現地富山県の高岡市郊外まで足を運ぶと、かつて酒蔵であった敷地内に2本のケヤキが寄り添うように悠然とそびえていた。江戸末期1864年に創業し、清酒「雄神」を醸造していた敷地内には木造に漆喰塗りの蔵や大きな杉樽などが残り、代々真摯に酒造りを続けていたことがひしひしと伝わる佇まいであった。この酒蔵は清流に近く土壌も豊かで風通しも日当たりも良く、そこはケヤキの生育に大変恵まれた環境であったため、ここまでの大木に生長できたのである。

(次頁に続く)